



源氏物語図屏風(部分) 狩野養信筆 六曲一双の内 江戸時代 林原美術館所蔵

企画展 特別公開 山口伊太郎作 「源氏物語錦織絵巻」

# 源氏物語と平家物語



橋合戦図屏風(部分) 六曲一隻 江戸時代 林原美術館所蔵

平成22年8月1日(日) — 9月26日(日)

- 開館時間 9時~17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(祝日の場合は翌日休館)  
「原典で聴く 平家物語の夕べ」 8月21日(土)・22日(日) ※イベント開催のため、12時で閉館させていただきます。  
「お月見と歌曲を楽しむ会」 9月23日(木・祝) ※イベント開催のため、12時で閉館させていただきます。
- 入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料 友の会会員無料  
団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引 障害者手帳提示の方・付添者・引率者 無料
- 主催 財団法人 林原美術館 ●後援 岡山県郷土文化財団 山陽新聞社
- ギャラリートーク 毎週土曜日 14時から(ただし8月28日(土)はスペシャルギャラリートークを開催します。)

林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733  
http://www.hayashibara-museumofart.jp

# 源氏物語と平家物語

日本の物語を代表する源氏物語と平家物語は深く日本人の心をとらえてきました。物語は歴史や文学の世界にとどまらず、美術・工芸・芸能の領域まで、それをモチーフとする作品を生みました。

光源氏を主人公に平安王朝の雅をえがいた『源氏物語』は、その成立から一千年の時をこえてもなお、我々に優美な王朝文化とそこに生きた男女の喜びや苦悩を語りかけてきます。平安時代末には早くも絵画化され、江戸時代になると大名家の婚礼に際し

て制作されるようになります。当館所蔵の「源氏物語図屏風」(狩野養信筆)もまた、このような作品のひとつに数えられます。

源平の合戦を主題に琵琶法師たちによって語り継がれた『平家物語』は、江戸時代になると12巻にまとめられた流布本が定着し、それを底本として壮大な絵巻物が制作されるようになります。館蔵の「平家物語絵巻」(越前松平家伝来、全36巻)は、日本で唯一完全な形で伝わる絵画化された平家物語の絵巻であり、平家物語がいかに広く親

しまれてきたのかがしのばれる作品です。

また本展では、西陣織作家の山口伊太郎氏(1901~2007)が、現代に鮮やかによみがえらせた「源氏物語錦織絵巻」(全4巻)のうち、第3巻(鈴虫)を特別公開いたします。山口氏が数十年に及ぶ歳月をかけて源氏絵巻を錦織で復元した稀代の作品です。人々を魅了してやまない『源氏物語』と『平家物語』の世界をご覧いただきたいとおもいます。



源氏物語錦織絵巻 山口伊太郎作 巻三 「鈴虫(二)」(部分) 紫紘株式会社所蔵



初音時絵文台 江戸時代 林原美術館所蔵



平家物語絵巻 巻第四下 「宮の御最期の事」(部分) 江戸時代 林原美術館所蔵



平家物語絵巻 巻第十一下 「腰越」(部分) 江戸時代 林原美術館所蔵

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\* 車椅子対応の設備があります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁通下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



### 次回予告

第25回国民文化祭・おokayama2010協賛事業  
企画展「林原美術館の国宝と重要文化財」  
平成22年10月3日(日)~11月23日(火)

広く知られているように、当館の所蔵品は、備前池田家伝来の調度品と、故林原一郎の日本・東洋美術のコレクションから成っています。本展では国宝太刀銘「吉房」をはじめ、重要文化財の能装束、洛中洛外図などの絵画、その他書跡、工芸品などをご覧いただき、当館の魅力を余すところなくご紹介します。会期中に展示作品の入れ替えを行います。